

平成 2 2 年 度

事 業 報 告 書

財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 理事会・評議員会の開催状況	1
II. 理事・監事・評議員の異動	2
III. 事業実施結果の概要	4
1. 福祉用具情報収集・提供事業	4
2. 福祉用具関連従事者等の人材育成事業	6
3. 福祉用具臨床的評価事業の実施	8
4. 福祉用具普及のための都道府県等に対する支援	8
5. 福祉用具等調査研究受託等事業	8
6. 義肢装具士国家試験の実施	9
7. 認定補聴器技能者の養成	10
8. 認定補聴器専門店認定事業	11
9. 福祉用具の啓発広報事業	11
10. 福祉用具の規格化に関する事業	12
11. 感覚器障害戦略研究事業の実施	12
12. その他の事業	12

I. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回次	主な議題
平成22年6月23日	第1回 理事会・評議員会	①平成21年度事業報告及び決算 ②平成22年度変更予算 ③移行予定新公益法人の定款制定 ④評議員候補者推薦 ⑤評議員の辞任・選任
平成23年3月30日	第2回 理事会・評議員会	①平成22年度予算第二次変更 ②平成23年度事業計画及び予算 ③移行予定新公益財団法人テクノエイド協会定款の一部変更等 ④任期満了に伴う理事・監事・評議員の選任 ⑤感覚器障害戦略研究事業の一部中止に伴う医療機器リース料残額の処理

II. 理事・監事・評議員の異動

1. 平成22年6月23日 理事会

(1) 評議員の辞任・選任

氏名	摘要	所属等
松原 かおり	退任	前(財)東京都福祉保健財団 人材養成部長
八嶋 英敏		技術研究組合医療福祉機器研究所 理事長
坂田 早苗	新任	(財)東京都福祉保健財団 人材養成部長

2. 平成23年3月30日 理事会・評議員会

(1) 理事の選任(再任)

氏名	摘要	所属等
小嶋 弘仲	再任	(財)テクノエイド協会 理事長
一瀬 正志	再任	(財)テクノエイド協会 常務理事
伊藤 勇一	再任	(社福)全国身体障害者施設協議会 会長
稲垣 平八	再任	(社)日本義肢協会 理事長
井上 清恆	再任	(社)日本補聴器工業会 副理事長
川村 慶	再任	(社)日本車いすシーティング協会 代表理事
木村 晴恵	再任	(社福)洛東園 園長
澤村 誠志	再任	兵庫県立総合リハビリテーションセンター 顧問
多田 宏	再任	(社)シルバーサービス振興会 理事長
羽生田 俊	再任	(社)日本医師会 副会長
山下一平	再任	日本在宅医療福祉協会 副会長

(2) 監事の選任(再任)

氏名	摘要	所属等
福田 博美	再任	前(社)全国保育士養成協議会 理事
松寿 庶	再任	(社福)全国社会福祉協議会 理事

(3) 評議員の選任（再任）

氏 名	摘 要	所 属 等
池 田 茂	再 任	前(社)日本福祉用具供給協会 理事長
伊 藤 和 郎	再 任	元 身体障害者福祉審議会 委員
伊 藤 利 之	再 任	横浜市リハビリテーション事業団 顧問
大 丸 幸	再 任	(社)日本作業療法士協会 理事
小 川 榮 一	再 任	(社福)日本身体障害者団体連合会 会長
小 口 芳 久	再 任	慶応義塾大学医学部眼科 名誉教授
河 原 雅 浩	再 任	(財)全日本ろうあ連盟 理事
吉 川 重 昭	再 任	(有)吉川バリアフリー商品企画 代表取締役
木 村 哲 彦	再 任	日本リハビリテーション専門学校 校長
小 寺 一 興	再 任	帝京大学医学部耳鼻咽喉科学教室 主任教授
齋 藤 正 男	再 任	東京大学 名誉教授
坂 田 早 苗	再 任	(財)東京都福祉保健財団 人材養成部長
坂 卷 熙	再 任	(社福)潤沢会 理事長
笹 川 吉 彦	再 任	(社福)日本盲人福祉委員会 理事長
柴 田 貞 雄	再 任	国立障害者リハビリテーションセンター 顧問
鈴 木 庸 介	再 任	(社)日本補聴器販売店協会 理事長
田 内 光	再 任	国立障害者リハビリテーションセンター病院 副院長
田 中 徹 二	再 任	(社福)日本点字図書館 理事長
土 肥 徳 秀	再 任	医療法人社団福寿会 福岡クリニック
土 肥 健 純	再 任	東京大学大学院 教授
野 村 歡	再 任	国際医療福祉大学大学院 教授
伴 菊 夫	再 任	元 労災リハビリテーション工学センター 所長
松 永 茂 之	再 任	(株)松永製作所 代表取締役会長
脇 本 千 治	再 任	(社)日本義肢協会 常務理事
山 内 繁	再 任	早稲田大学研究推進部 参与

Ⅲ. 事業実施結果の概要

1. 福祉用具情報収集・提供事業

(1) 福祉用具情報システム（T A I S）事業

福祉用具の効果的な利用を促進するための基盤整備として、全国に散在している福祉用具製造事業者等及び福祉用具情報を一元的にデータベース化し、インターネットを通じて広く情報発信を行っている。

《 平成23年3月末現在 情報総数 》

企業情報	553社
用具情報	6,541点

■福祉用具情報の分類別総数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	500	7.6
06	義肢・装具	10	0.2
09	パーソナルケア関連用具	1,137	17.4
12	移動機器	2,650	40.5
15	家事用具	34	0.4
18	家具・建具・建築設備	1,922	29.4
21	コミュニケーション関連用具	207	3.2
24	操作用具	25	0.4
27	環境改善機器・操作用具	30	0.5
30	レクリエーション用具	10	0.2
89	その他の用具	16	0.2
合計		6,541	100.0

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

当協会のホームページを活用して、障害をお持ちの方や介護される方等から、福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の情報290件（ご意見箱への投稿133件、掲示板への書き込み157件）を収集し、それをメーカーや研究者等へ提供することにより、障害者や高齢者等から真に必要とされる、使い勝手の良い用具の研究開発を推進する事業を行った。

(3) 補装具製作（販売）業者情報システム事業

平成18年10月の障害者自立支援法の全面施行に伴い、補装具の制度が、障害者と補装具製作（販売）業者による契約の制度に変わったことから、厚生労働省障害保健福祉部からの要請により、義肢製作所及び補聴器販売店の情報を、障害者や市町村担当者が、補装具製作（販売）業者の選定を適切にできるようにするため、当協会のホームページから情報発信を行っている。

《 平成23年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	280製作所
補聴器販売店	416販売店

(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者自立支援法に基づく、義肢装具等の完成用部品について、平成20年4月より利用者の身体状況や使用環境に適合した適切な完成用部品が選定されるよう、当該部品の対象者やその効果、また適応範囲や調整方法等についての詳細な情報を当協会のホームページから情報発信している。

《 平成23年3月末現在 情報総数 》

企業情報	30社
部品情報	1,852点
(内訳)	
殻構造義肢	414点
骨格構造義肢	789点
装具	441点
座位保持装置	208点

2. 福祉用具関連従事者等の人材育成事業

(1) 福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の効果的な使用と普及促進を図るため、福祉用具の選定、使用方法、取り扱い方等に関しての専門的知識及び技能を有する者(福祉用具プランナー)を育成することを目的として研修会を実施した。

① テクノエイド協会主催

- ・開催期間 平成22年8月28日(土)～9月3日(金)
- ・開催地 東京
- ・修了者 48名

② 他団体主催(テクノエイド協会共催等)

1) 介護実習・普及センター

- ・開催地 北海道、富山、長野、静岡、
京都、愛媛、福岡、大分
- ・修了者 215名

2) その他 関係団体

- ・開催地 東京、滋賀、大阪、熊本
- ・修了者 146名

(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

平成21年度から介護保険制度の貸与品目に採用された可搬型階段移動用リフト等においては、当該機器を取り扱う貸与事業者はメーカー等による操作講習を受講すること、および貸与の際には利用者の家族等に操作指導を行うことが義務付けられた。

それに伴い「可搬型階段昇降機安全推進連絡会」(国内メーカー等)と連携を図り、標準化された操作方法を適切かつ安全に指導できる福祉用具専門相談員を養成することを目的とした可搬型階段昇降機安全指導員講習制度を構築し、資格条件を満たしたものに対して可搬型階段昇降機安全指導員資格証を付与した。また、この講習制度を構成する機種別講習と基礎講習のうち、基礎講習の実施・共催支援を行った。

① 基礎講習修了者

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京、大阪、広島
- ・修了者 285名

2) 介護実習・普及センター主催（テクノエイド協会共催等）

- ・開催地 宮城
- ・修了者 43名

3) 他団体主催（テクノエイド協会共催）

- ・開催地 鹿児島
- ・修了者 20名

② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証

- ・交付者数 351名

(3) リフトリーダー養成事業

介護労働者設備等整備モデル奨励金（厚生労働省職業安定局）に対応し、施設等介護従事者の腰痛予防のため、リフト等福祉用具導入に際して、施設内で計画・相談・研修・指導の中核となる人材を養成する「リフトリーダー養成研修」の実施を支援した。

リフトリーダー養成研修修了者

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 13名

2) 介護実習・普及センター主催（テクノエイド協会共催等）

- ・開催地 静岡、富山、愛知、和歌山、熊本
- ・修了者 122名

3. 福祉用具臨床的評価事業の実施

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等々を評価し、認証された用具を情報提供する事業を行った。

実際の評価は厚生労働省が委託した6機関において行われ、在宅における福祉用具の適合経験を豊富に有する専門家（OT・PT、エンジニア、福祉用具専門相談員）に、障害当事者を加えた5名のチームを編成し、当協会が種目毎に定めた評価項目に沿って合議制により評価を行った。

22年度については、特殊寝台及び車いすの計32製品を認証したところであり、23年度は、新たにJIS（日本工業規格）が制定された「スロープ」や「入浴補助用具」も評価を開始する予定である。

4. 福祉用具普及のための都道府県等に対する支援

（1）全国介護実習・普及センター等関係機関連絡会議の開催

高齢化社会における介護知識・技術及び福祉用具の普及のための地域の拠点として重要な役割を担う介護実習・普及センター等の運営に携わる関係者により、事業推進のための研究討議を行うことを目的として、介護実習・普及センター等関係機関連絡会議を開催した。

- | | |
|--------|---------------------|
| ① 開催期間 | 平成22年9月9日（木）～10日（金） |
| ② 開催地 | 千葉 |
| ③ 参加者 | 72名 |

5. 福祉用具等調査研究受託等事業

（1）厚生労働省の研究補助を受け、次の事業を行った。

○福祉機器開発普及等事業

当協会に福祉用具有識者会議を設置し、福祉用具ニーズ情報収集・提供システムに寄せられた「ご意見」や「アイデア」等の取り纏めを行い、厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業評価検討会へ報告するとともに、より多くの障害者や開発者に本システムが活用されるよう、検索や表示・文言の在り方等について、システム利用者のご意見を踏まえて本システムの改良を行った。

(2) 厚生労働省老人保健事業推進費等補助金を受けて、次の事業を行った。

○福祉用具の適切な利用を推進するための調査研究事業

介護保険の第一線で活躍するケアマネジャーや福祉用具専門相談員、OT・PT等に福祉用具の専門家を交えた委員会を設置し、ケアプランで設定された生活目標を前提にした、福祉用具活用による解決策とその理由、利用者や使用環境等に求められる条件等を整理するための作業を行い、その結果を福祉用具選定支援書に取り纏め、関係団体等へ配布した。

(3) 独立行政法人福祉医療機構からの助成を受け、次の事業を実施した。

○福祉用具指導者養成のための標準化プログラム開発事業

昨年度の成果として、福祉用具プランナー指導者養成における標準的なプログラム（シラバス・テキスト等）が完成し、本年度は福祉用具プランナー管理指導者養成モデル研修において、これを検証した。

本モデル研修を受講した16名に認定書（福祉用具プランナー管理指導者）を交付した。

なお、本年度から国際医療福祉大学大学院では、本プログラムを組み込んだ福祉用具管理指導者領域（修士課程）をスタートさせることになった。

6. 義肢装具士国家試験の実施

義肢装具士法による第24回義肢装具士国家試験を次のとおり実施した。

- ① 願書受付 平成23年1月14日（金）～1月28日（金）
- ② 試験日 平成23年3月4日（金）
- ③ 試験地 東京
- ④ 合格発表 平成23年3月28日（月）

■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
199人	176人	88.4%

7. 認定補聴器技能者の養成

(1) 各講習会を次のとおり実施した。

①第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	H22.9.1(水) ～H23.1.10(月)	547名	514名

②第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のスクーリング等 〔旧養成事業の補聴器技能者基礎 講習修了者に対する経過措置〕	H22.7.29(木) ～7.30(金)	東 京	171名	171名
	H22.8.2(月) ～8.3(火)	東 京	215名	213名
	H22.8.4(水) ～8.5(木)	東 京	228名	228名
	H23.1.27(木) ～1.28(金)	東 京	238名	238名
第1回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	H23.2.9(水) ～2.10(木)	東 京	218名	212名
第2回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	H23.2.24(木) ～2.25(金)	東 京	239名	228名

③第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合研修	H22.10.25(月) ～10.29(金)	東 京	試験のみ3名 195名	193名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合研修	H23.12.6(月) ～12.10(金)	東 京	試験のみ5名 279名	277名

④認定補聴器技能者登録更新時講習会

区 分	期 間 等	場 所	受講者数	修了証等 発行者数
第13回認定補聴器技能者 登録更新時講習会	H22.10.21(木)	東 京	182名	182名

(2) 認定補聴器技能者試験を次のとおり実施した。

区 分	試 験 日	場 所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第18回認定補聴器 技能者試験	H22.11.19(金)	東 京	239	238	200	84.0

8. 認定補聴器専門店認定事業

従来、全国補聴器専門店認定協会が行っていた「認定補聴器専門店」の認定業務を平成19年4月からテクノエイド協会に移管し、補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の要件を充足している補聴器販売店を「認定補聴器専門店」と認定する業務を実施した。(平成22年度新規認定申請30店、更新認定申請83店)

移管時の認定店舗数	469店舗	平成19年4月1日現在
現在の認定店舗数	549店舗	平成23年3月31日現在

9. 福祉用具の啓発広報事業

(1) 啓発誌等の発行

次の啓発誌等を作成し、都道府県、関係機関等に配布した。

「アシスティブ・プロダクツ」(年2回)

(2) 広報活動

- ① 福祉用具の普及促進のためのパンフレット、パネル等を作成し、掲示又は配布した。
- ② 機器展等への出展
 - 第37回 国際福祉機器展 (期間 H22.9.29～10.1) 東京ビッグサイト

(3) 図書等の出版事業

「福祉用具総覧2007」、「福祉用具支援論」、「福祉用具Q&A」、「福祉用具プランナーテキスト」、「自助具ハンドブック」、「住宅改修ハンドブック」等を販売した。

10. 福祉用具の規格化に関する事業

(1) ISO（国際標準化機構）に関する国内審議団体としての事業

ISO/TC173（リハビリテーション機器システムに係る専門委員会）/SC2（用語と分類に係る分科委員会）国内委員会の事務局として業務を行い、ISO/DIS9999（国際規格原案）投票及び委員等をSC2/WG11（用具と分類に係る作業グループ）国際会議（ドイツ）に派遣し、国際規格改定に向け積極的な審議、提案を行った。

(2) JIS（日本工業規格）の原案作成団体としての事業

平成21年度に検討した「JIS T0102 福祉関連機器用語〔支援機器部門〕（案）」に、イラストや索引を加え、経済産業省に対して改正原案の申出を行った。

その後、経済産業省の日本工業標準調査会（高齢者・障害者支援専門部会）による審議を経て、23年3月にJIS規格として制定された。

11. 感覚器障害戦略研究事業の実施

聴覚障害を有する小児の日本語言語発達状況を評価し、その発達を促す方策を探ることを目的に、「聴覚障害児の療育等により言語能力等の発達を確保する手法の研究」を行っている。

なお、当該研究は平成23年度までの5年間の研究事業であり、平成22年度は4年目として、1)聴覚障害児の現状について調査、2)国内の聴覚障害児781名（目標充足率97.6%）を対象に日本語言語発達における問題点の分析等及び解析を行った。

12. その他の事業

(1) 海外調査の企画支援

テクノエイド協会のツアー企画により、ヨーロッパ先進国における福祉用具開発・普及の状況、地域ケアシステム等の実情視察のための視察団を派遣した。

- ・訪問国 ベルギー、ドイツ
- ・期間 平成22年10月3日（月）～10日（日）（8日間）
- ・参加者 29名

(2) 関係団体の行事等に対する後援、協賛（申請順）

- 1 「第8回国際バイオフィリア リハビリテーション大会」後援 H22年10月29日～31日(3日間)
(主催:特定非営利活動法人バイオフィリア リハビリテーション学会)
- 2 「第12回西日本国際福祉機器展」協賛 H22年11月11日～13日(3日間)
(主催:西日本国際福祉機器展実行委員会)
- 3 「福祉機器コンテスト2010」後援 H22年5月～H23年2月(10月間)
(主催:日本リハビリテーション工学協会)
- 4 「第25回リハ工学カンファレンス」後援 H22年8月26日～28日(3日間)
(主催:日本リハビリテーション工学協会)
- 5 「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド2010」後援 H22年7月30日～31日(2日間)
(主催:横浜市リハビリテーション事業団)
- 6 「サイトワールド2010」後援 H22年11月1日～3日(3日間)
(主催:日本盲人福祉委員会)
- 7 「第32回車いすSIG講習会in仙台」協賛 H22年8月24日～25日(2日間)
(主催:日本リハビリテーション工学協会)
- 8 「HOSPEX Japan 2010」協賛 H22年11月17日～19日(3日間)
(主催:日本医療福祉設備協会、日本能率協会)
- 9 「第14回国際福祉健康産業展」協賛 H23年5月20日～22日(3日間)
(主催:名古屋国際見本市委員会)
- 10 「第9回車いす・シーティング技能者講習会」後援 H22年11月19日～23日(5日間)
(主催:日本車いすシーティング協会)
- 11 「日赤振興会第23回講習会(在宅医療の新展開)」後援 H22年11月17日(1日間)
(主催:日赤振興会)
- 12 「第3回補装具製作セミナー」後援 H22年11月20日(1日間)
(主催:日本義肢協会)
- 13 「第2回「介護の日」フェスティバルinとちぎ」後援 H22年11月6日～7日(2日間)
(主催:栃木県、栃木県老人福祉施設協議会)
- 14 「第33回車いすSIG講習会in京都」協賛 H23年2月5日～6日(2日間)
(主催:日本リハビリテーション工学協会)
- 15 「世界網膜の日in埼玉」後援 H23年9月24日(1日間)
(主催:日本網膜色素変性症協会)
- 16 「バリアフリー2011」協賛 H23年4月14日～16日(3日間)
(主催:大阪府社会福祉協議会、テレビ大阪)
- 17 「平成22年度高齢者施設職員研修会」後援 H23年3月3日(1日間)
(主催:神奈川聴覚障害者総合福祉協会)
- 18 「国際モダンホスピタルショウ2011」協賛 H23年7月13日～15日(3日間)
(主催:日本病院会、日本経営協会)